

## 多摩地域ごみ実態調査 2018 (平成30) 年度統計を発行しました

当調査会では毎年度、多摩地域30市町村のごみ処理の実績をまとめ、「多摩地域ごみ実態調査」として発行しています。このたび、2018(平成30)年度の統計ができあがりましたので、概要をご紹介します。

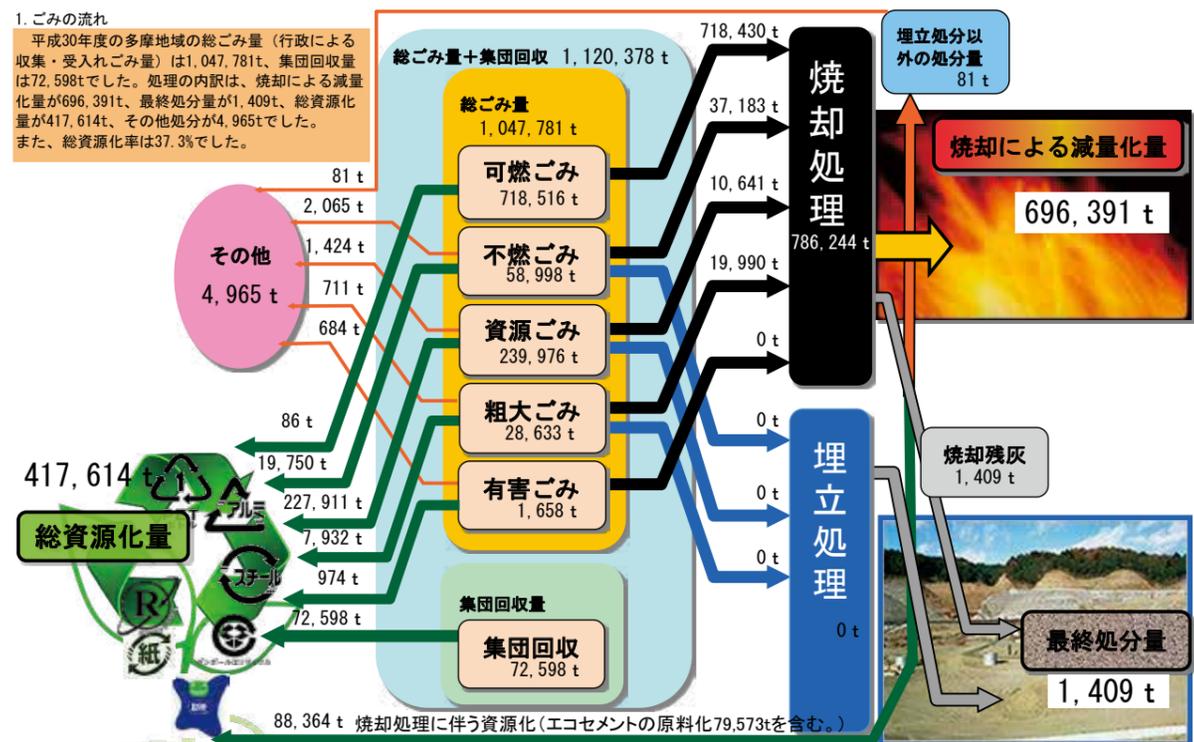
「多摩地域ごみ実態調査 2018(平成30)年度統計」の報告書は、当調査会のホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) からダウンロードすることができます。

- ・「多摩地域ごみ実態調査 2018(平成30)年度統計」
- ・「多摩地域ごみ実態調査 2018(平成30)年度統計 概要版」

なお、以前の報告書(平成20年度～平成29年度統計)についても、ダウンロードすることができます。ぜひ活用ください。



### ▶ 2018(平成30)年度 多摩地域30市町村のごみ処理の実績



※ 数値データは、その算出に当たり、小数点以下を四捨五入しているため、各内訳数値の合計とその合計欄の数値が一致しない場合があります。

#### 総ごみ量

2018(平成30)年度の総ごみ量(家庭ごみ及び事業系ごみ)は1,047,781tとなり、前年度に比べて0.4%減少しました。主な内訳を見ると、収集ごみ量(主に家庭ごみの量)は887,508tで前年度に比べて0.4%減少し、持込ごみ量(主に事業系ごみの量)は160,273tで前年度に比べて横ばいでした。

#### 1人1日あたりのごみ量

1人1日当たりのごみ量(集団回収<sup>※</sup>量を含む)は726gとなり、前年度に比べて1.0%減少しました。

※町会・自治会等の地域の団体が、紙類やびん等の資源物を回収し、直接回収業者に引き渡す自主的な資源回収

#### ごみの資源化

2018(平成30)年度の総資源化率(リサイクル率)は37.3%で前年度に比べて0.1ポイント減少し、ごみ資源化率は32.9%で前年度に比べて横ばいでした。

◆ ごみの資源化の状況を示す総資源化率(リサイクル率)とごみ資源化率は、次の計算式で求めています。

$$\text{総資源化率(リサイクル率)} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量}^{(\ast 1)} + \text{収集後資源化量}^{(\ast 2)} + \text{集団回収量}}{\text{総ごみ量} + \text{集団回収量}}$$

$$\text{ごみ資源化率} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量} + \text{収集後資源化量}}{\text{総ごみ量}}$$

※1 分別収集や拠点回収を行った資源ごみ(缶、びん、ペットボトル等)の量

※2 中間処理施設において、不燃ごみや粗大ごみ等から選別された資源物の量とエコセメントの原料に使用した焼却灰の量

#### 最終処分量

最終処分量は1,409tとなり、前年度に比べて1.5%減少しました。内訳を見ると、焼却処理施設からの焼却残灰が1,409tで前年度に比べて7.1%増加、埋立処理された不燃残さ(不燃ごみ等を破碎選別したもの)が0tで前年度に比べて100%減少しました。

ちょっと一息



### 知っていますか?多摩地域のこんな駅

わたげのボクが飛んでいて気になった、多摩地域のちょっと変わった駅を紹介するよ。ふわっと足を運んでみてね♪

#### 青梅街道駅(西武多摩湖線)



その名のとおり、青梅街道に隣接して設置されているよ。青梅街道は、江戸城の改修に必要な石灰を輸送するために、1606年に整備された街道なんだ。駅舎は宿場のような形をしていて、この辺りが宿場町として栄えた頃の趣があるね。



駅のホームは、東京都では珍しい1面1線の単式ホームなんだ。西武多摩湖線の途中には、同じような単式ホームがあると2駅あるけど、どこかわかるかな? 国分寺駅から電車が出てくるから、裏表紙のとおきフォトスポットで紹介する場所とあわせて、ぜひ行ってみてね!

※正解は八坂駅と武蔵大和駅

#### 布田駅(京王線)



調布駅から新宿方面へ1駅行ったところに布田駅があるよ。地下のホームに降りていっただら、京王線の駅で唯一の光景が... 下の写真のように、京王線の他の駅とは違って、ホームドアが天井まであるんだ。どうしてかな?



布田駅は、通気口のないトンネルの中にあるから、電車が通るとすごい風圧がホームにかかるんだ。その風圧からお客さんを守るために、天井までホームドアがあるんだよ。これなら、わたげのボクも安心だね!



去年の12月号でお店を紹介した柴崎駅も近いから、こちらも訪れてみてね。